

☆ アレルギー講演会を開催しました

南多摩保健所では、7月11日（水曜日）、多摩市のベルブホールにて、アレルギー講演会「食物アレルギーの知識と対応～緊急時に備えよう～」を開催しました。管内（日野市・多摩市・稲城市）の保育園や幼稚園等の職員101名の参加がありました。

最初の講義では、おださが小児アレルギー科院長の富川盛光医師から、食物アレルギーの基本的な知識とアレルギーによるショック症状、そして緊急時対応マニュアルに沿った適切な対応方法を実際の写真や映像を交えてお話し頂きました。



次に、日本小児臨床アレルギー学会の認定制度である小児アレルギーエドゥケーターの徳永美由紀看護師から指導を受け、参加者全員がエピペン®トレーナーを使った実技練習を行いました。

最後に、緊急時対応の模擬訓練としてエピペン®を打つと判断してから、実際に打つまでの場面を参加者に実演してもらいました。出演された方々の迫真の演技で、臨場感のある体験となりました。

参加者からは「練習用のトレーナーを使用し、より知識を身に着けることできた」「普段からシミュレーション訓練をしていきたい」「緊急時対応マニュアルを実用できるようにしたい」等の感想が寄せられました。

当保健所では、引き続きアレルギー対策に係る地域関係者の育成を支援していきます。

※1 エピペン®：アナフィラキシー症状を緩和するために自己注射する補助治療薬。緊急時には、学校・保育所等の教職員が本人に代わってエピペン®を注射することも想定される。なお、「エピペン®トレーナー」は、薬液の入っていない訓練用の模擬注射器。

